

重 要 記 録

1 空き家等の適正管理に関する条例施行（4月）

4月1日から米子市空き家等の適正管理に関する条例を施行し、所有者（相続人や占有者なども含む。）の管理義務を明確にし、これが果たされず倒壊や建築材の飛散等の危険があるものに対しては、一定の基準を設けて指導することにより、近年社会問題となっている危険空き家問題に対応していくこととした。

2 野坂市政の3期目がスタート（4月）

新米子市発足後、3度目の米子市長選挙が4月21日に行われ、米子市長に野坂康夫氏が再選され、野坂市政の3期目がスタートした。また、同時に米子市議会議員補欠選挙が行われ、2名の議員が誕生した。

3 天皇・皇后両陛下が米子水鳥公園を視察される（5月）

「第64回全国植樹祭」に御出席のため、来米された天皇・皇后両陛下が、5月25日に米子水鳥公園ネイチャーセンターを視察された。当館では職員による水鳥の説明を受けられ、水鳥の観察をされた。

また、5月25日及び27日に米子市内の沿道において、天皇・皇后両陛下に対する一般奉送迎を実施し、一般市民等が両陛下のお迎え・お見送りを行った。

4 津波避難訓練の実施（7月）

平成24年度に締結した「津波発生時における一時避難所としての加盟旅館の使用に関する協定」を受け、7月1日、皆生温泉旅館組合、皆生ライフセービングクラブ等の関係者の協力の下、皆生海岸において、津波避難訓練を行い、協定の実効性を検証した。

5 図書館・美術館リニューアルオープン（8月）

8月17日、図書館・美術館がリニューアルオープンした。図書館はバリアフリー化を進め、設備や書架等の更新、自動貸出機、ICゲートの導入、開館時間の延長等利便性の向上を図り、集会や展示、作品発表等の行える研修室や多目的スペースを設置した。美術館では、照明のLED化、展示用パーテーションの改修、収蔵庫の増設等により利便性、機能性の向上を図り、増築部分にカフェスペースを新設した。

6 エコツーリズム国際大会の開催（10月）

米子コンベンションセンター「ビッグシップ」を主会場に、鳥取県西部地域を中心に10月19日から21日までの3日間、国内外から約4,000人の関係者が集まり、「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」が開催された。多彩な講師を招いてのシンポジウムでは、全国の大学生や地元の高校生も多く参加し、地域の自然を生かすエコツーリズムを学び、県内各地のエクスカッション（小旅行）では、鳥取県の魅力あふれるエコツアーを堪能した。

また、併催・応援イベントとして、皆生・大山SEA TO SUMMITなど多数開催され、期間中は延べ17,000人以上の参加者で賑わった。

7 伯耆の国よなご文化創造計画後期計画策定（10月）

平成17年度から平成24年度までの前期計画の進捗状況等を踏まえ、文化振興に不可欠な環境整備を計画的に推進するため、文化活動・人材育成の推進、文化施設の整備・活用、文化情報ネットワークの充実を基本方針とした伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）を10月に策定した。

8 原子力防災訓練の実施（11月）

鳥取県、島根県、島根原子力発電所周辺の市及び関係機関と合同で、11月5日には初動対応訓練を、11月10日には住民参加によるJR、バス等公共交通機関を使った避難訓練等の原子力防災訓練を実施した。

9 災害時における情報伝達手段の拡充（11月～3月）

防災行政無線の放送内容をフリーダイヤルの電話で聞き直しができる「緊急放送テレホンサービス」を導入した。また、西日本電信電話株式会社鳥取支店の協力の下、災害時にもつながりやすい特設公衆電話を避難指定の小中学校、UPZ 圏内の公民館等に計49か所98回線設置した。

10 米子鬼太郎空港に国内3路線が新規就航（12月）

12月20日、米子鬼太郎空港にスカイマーク株式会社による神戸（2往復4便）、成田（2往復4便）、茨城（神戸経由）（1往復2便）の3路線が新規に就航した。

11 源吉兆庵鳥取米子大山工場操業開始（12月）

米子流通業務団地に誘致した、株式会社源吉兆庵鳥取米子大山工場が、12月1日から従業員約70人で操業を開始した。鳥取米子大山工場では、県内産農産物を積極的に活用した商品を製造し、5年後の年間出荷額は70億円、最終的な雇用は約150人を見込んでいる。

12 安倍三柳線事業再開（12月）

市街地の交通流入緩和、安全・防災面及び周辺部の交通渋滞解消などを目的とした市道安倍三柳線について、12月6日に都市計画の変更を行い、市道外浜街道線から県道両三柳西福原線（通称「外浜産業道路」）の区間において、現地測量・調査等に着手し、事業を再開した。

13 ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク竣工、運転開始（2月）

塩害や震災等により、長い間利用されてこなかった「崎津がいなタウン」と隣接する鳥取県及び鳥取県住宅供給公社の所有地の合計53.2ヘクタールにおいて、大規模太陽光発電所が建設され、2月1日に運転を開始した。計画では、一般家庭12,000世帯分の消費電力に相当する42.9メガワットを発電する。

14 米子市議会基本条例及び米子市議会議員政治倫理条例の制定（3月）

議員定数・議会改革等調査特別委員会において、平成23年3月から27回の審議と市民説明会やパブリックコメントを経て、市民及び市長との関係、議会及び議員の活動原則等の議会に関する基本的事項を定めた「米子市議会基本条例」及び議員の政治倫理や議員の責務等を定めた「米子市議会議員政治倫理条例」を米子市議会3月定例会で制定した。

なお、いずれの条例も公布の日以後はじめて行われる一般選挙により選出される議員の任期の初日（平成26年7月1日）から施行する。

15 米子市公会堂リニューアルオープン（3月）

3月29日、耐震補強及び大規模改修工事を終え公会堂がリニューアルオープンした。長年親しまれてきた意匠に配慮しながら内外装を一新するとともに、音声誘導装置や点字ブロックの設置などバリアフリー整備を行った。また、ホワイエはイベントスペースとして単独使用が可能となり、管理棟にはカフェを設置した。

16 ふるさと納税好調

米子市の「ふるさと納税」は引き続き好調に推移しており、平成25年度の寄附件数（人数）は24,447人（前年度の3.39倍）、寄附金額は279,241,257円（前年度の3.14倍）と全国トップクラスの実績を維持している。